

商慣行見直し が必要不可欠

今井忠 ドラム缶工
業会理事長



昨年は石油・化学分野
のおう盛な需要に支えら
れ、二百㊦ドラム缶の出
荷量は前年比一〇五%程
度と順調な伸びを示し、
実数としても二千五百万
本(暦年ベース)の大体
に乗せたと思われます。
またペール缶につきまし
ても二千三百万本前後の
出荷を維持しています。
本年の需要見通しとし
ては国内外の景気はやや
踊り場的な様相をみせて
いるものの、主体となる
化学分野については内外
需とも堅調に推移すると
の見方が多く、二百㊦ド
ラム一千五百万本程度、
ペール缶についても昨年
並みの需要は見込めるの
ではないかと期待してお
ります。

しかしながら昨年来、

当業界は材料である鋼材
価格の高騰に見舞われる
ばかりでなく、年後半か
ら材料不足という、かつ
てない事態に直面してお
ります。

このため本年最大の課
題として需要家のご要請
にこえ、ドラム、ペール
の安定供給を果たすべ
く、鋼材確保をはじめ生
産・出荷体制に万全を期
す所存であります。

ただ、そのためにはド
ラムの規格・仕様などの
簡素化、さらには受注・
配送契約にかかわる商慣
行の見直しが必要不可欠
であると考えておりま

す。より堅固なサプライ
チェーンの形成に向けた
取り組みに、なにとぞご
協力を頂きたいと存じま
す。

また一昨年来、需要家
各位にご理解をいただき
て参りましたが、鉄鋼原
料の高騰により今年も大
幅な鋼材の値上がり避け
られない状況となりま
した。

鋼材の安定確保に向け
たわれわれの取り組みに
対して、引き続き格段の
ご理解、ご協力を賜わり
ますようお願い申し上
げ、新年のご挨拶いた
します。

(日鐵ドラム社長)

年頭所感

品質保証、安全本制確立

ウェブサイターや海外メー

当に数少ない商品の一つ